

ムササビ

学名	Petaurista leucogenys(Temminck)		
目名	齧歯目		
目名学名	RODENTIA		
科名	リス科		
科名学名	Sciuridae		
カテゴリー	大分県：地域個体群(LP)	環境省：掲載なし	水産庁：



[選定理由]

特定の神社林,伐採された森林の孤島状残存林などで小規模個体群化し,地域特定の傾向顕著である。

県内分布	県内全域
分布域	本州,四国,九州(長崎・佐賀・福岡・大分・熊本・宮崎・鹿児島)
世界的分布	中国(甘肅,四川,雲南省)
生息環境	低地から亜高山帯の森林に生息する。夜行性で,樹上で活動し,食性はほぼ完全な植物食で樹の葉,芽,樹皮,種子などを採食する。
現 状	大山町烏宿神社では森林の孤島化。弥生町愛宕神社では森林の減少と通行車両による影響。佐伯市城山では市街地直近のため夜間照明や人の出入りなどの人為圧を理由に。この他,国東町文殊仙寺,竹田市宮砥八幡,臼杵市東神野熊野神社,宇目町真弓天満宮及び木浦小学校でも樹林の小規模化や人為干渉などを理由に個体群の孤立小規模化が進行している。
備 考	生息場所である森林自体の消滅や小規模化が発生していることに加え,従来の営巣場所である樹洞,神社,民家の屋根裏などに対する人為干渉が激しく,生息可能な場所が急減している。特に,神社では改修に伴う外壁の金属建材の普及により生息場所を奪われている。